

令和6年度 前期 ビジネス・キャリア検定試験

ロジスティクス分野

2級 ロジスティクス・オペレーション

試験問題

(14 ページ)

1. 試験時間 110 分

2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、受験票に記載されている試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、40題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。
(配 点) 問題1～問題40 各2.5点 合計100点
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、J I S等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和6年5月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシート（解答用紙）には、①試験区分名、②氏名、③座席番号、④受験番号、⑤生年月日を正確に記入してください。なお、受験番号の最後の桁は、アルファベットですので、数字と間違えないように注意してください。
- (7) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆又はシャープペンシルのいずれかで、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (8) マークシートには、所定の事項以外は絶対に書き込まないでください。なお、計算等が必要な場合は、問題用紙の余白又は裏面を使用してください。
- (9) マークシートにはア～オまでマークする欄があります。問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを1つだけ選んで間違えないようにマークしてください。
- (10) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (11) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (12) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (13) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (14) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (15) 替え玉受験、試験中に受験者間で情報を授受する行為、指定されたもの以外のものを机の上に置く行為、カンニング行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (16) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。
- (17) 試験終了後の正解表の公表、合格発表等のスケジュールは、受験票に記載しておりますので、ご確認ください。

問題1 輸出貨物の輸送包装を計画する際に考慮すべき事項に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 輸送先までの輸送途中の大気の温湿度などの条件を確認する。
- イ. 合板以外の梱包用木材を使って輸出する場合は、殆どの国で梱包用木材規制（I S P M）に準拠した対応を行う必要がある。
- ウ. コンテナでの国際複合輸送の場合、港湾などの広域物流拠点での滞留日数は輸送日数に含めずに輸送包装の強度設計を行う。
- エ. 相手国の開梱作業、経路中の荷扱い作業時の衝撃度合い等、荷扱いの状況を考慮する。
- オ. L C Lコンテナ輸送の場合、コンテナ内での荷崩れ対策、臭い対策なども考慮する。

問題2 包装の標準化に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流機器のサイズに対応した包装サイズを標準化することによって、積載効率向上による物流コスト低減ができる。
- イ. 小型で大量に扱われる製品は、パレットやコンテナなどの包装機材の標準化が重要である。
- ウ. ヨーロッパでは「1,100×900mm」のパレットに適合した包装モジュールとなっている。
- エ. 冷蔵庫や洗濯機のような大型製品は、包装モジュールのサイズにこだわらず、トラック等の輸送手段のサイズに合わせた包装サイズにすることが重要である。
- オ. アジアパレットシステム連盟によって「1,100×1,100mm」及び「1,200×1,000mm」の2つが標準パレットとして選択された。

問題3 データキャリアを使用する際の検討項目に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. バーコード、2次元シンボルは、物流過程等においてスキャナで読みとれる位置に貼付又は印刷する必要がある。
- イ. R F タグは、バッグやケースの外からでも読み取れるのでセキュリティとプライバシーに考慮しなければならない。
- ウ. R F タグは、バーコードラベル等に比べ価格が高いため、低単価の商品ではユニットロード等の機材に取り付け、繰り返し使用するなどの工夫がされている。
- エ. Q R コードは、温度・加速度等のセンサーと連動させ、変動する情報を収集し、トレーサビリティに資することが可能である。
- オ. 現在、日本では、R F タグの周波数950MHz帯は、使用できなくなっている。

問題4 RFタグの特徴に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 温度や衝撃等のセンサー付きのタグが作成可能である。
- イ. 一旦書き込んだ情報を、書き換え・書き加えが可能なものがある。
- ウ. 1次元シンボル、2次元シンボルと比較し、読み取り精度が高いのが最大の利点である。
- エ. チップ単体に個体の識別子を設定することにより、モノを個別に識別することが可能である。
- オ. 1次元シンボル、2次元シンボルと比較して耐候性に優れている。

問題5 一貫パレチゼーションに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 同一のパレットを多くのユーザーが循環利用することによって物流効率化を図るパレットプールシステムは、一貫パレチゼーションには使えない。
- イ. 一貫パレチゼーションを構築する場合は、発荷主、運送事業者、着荷主の三者で導入効果、経費の分担等を事前に検討し決めておくことが重要である。
- ウ. 自社パレットを使用する場合、回収サイクル期間×1日平均出荷パレット枚数で計算した枚数を確保する必要がある。
- エ. パレットにシートパレットを使用する場合、発送側と着荷側のフォークリフトにはサイドランプのアタッチメントが必要となる。
- オ. 日本では、一貫パレチゼーションでのパレタイズや荷崩れ防止等は、運送事業者が行う。

問題6 一貫パレチゼーションに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 一貫パレチゼーションの最大のデメリットは、積載効率の低下により輸送コストが増大することである。
- イ. 一貫パレチゼーションを運用開始してから明らかになる問題点として、パレットの回収サイクル、滞留期間、紛失等の誤算によるランニングコストの増大がある。
- ウ. 工場倉庫の荷受け場で、貸し切りトラックの運転者が倉庫内のフォークリフトを用いてパレタイズド貨物の荷卸し作業中に事故を起こした場合、安全管理責任はトラック運転者にある。
- エ. 初期投資、回収、メンテナンス、紛失を考慮すると、レンタルパレットを利用するかどうかの検討も重要である。
- オ. 荷役の機械化を促進し、荷役作業の軽減とともに、ユニット単位のハンドリングにより、流通時の荷傷みを軽減する効果もある。

問題7 コンテナリゼーションに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 鉄道貨物におけるコンテナ輸送用貨車（台車）への積込みは、40ftコンテナと20ftコンテナにはトップリフターを使用し、12ftコンテナにはフォークリフトが使用される。
- イ. 航空輸送に使用されるULDのサイズは、国際標準化機構（ISO）によって定められている。
- ウ. 海上コンテナの個数を示すTEUは、40ftコンテナ1本を1個に換算した個数である。
- エ. 20ftの海上コンテナには、背高コンテナはない。
- オ. 海上コンテナの扉を封印した金属製シールを切る（開封する）ために必要な専用のシールカッター（ボルトクリッパー）は、ドライバーが常備していなければならない。

問題8 コンテナリゼーションに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 海上コンテナでの輸出の際、FCLの場合コンテナの総質量をコンテナ船船長に提示する義務がある。
- イ. 1AAAとは、40ftハイキューブ海上コンテナの種類を表す。
- ウ. 海上コンテナ内のショアリングに使用する木材は、熱処理あるいは燻蒸処理の必要がある。
- エ. RORO船によるコンテナ輸送は、本船にランプウェイを経由して乗り入れた後、トラクターを外し、トレーラのみ海上輸送することが一般的である。
- オ. 港湾での海上コンテナの荷役には、ガントリークレーン、ストラドルキャリア、トランスファークレーン等があるが、コンテナ船への積卸しにはストラドルキャリアが使用されている。

問題9 物流センター計画に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流センターの概念設計の段階で用いられる主な手法として、荷姿データ分析、物量データ分析、作業分析等がある。
- イ. 物量の分析には、機能別の物量分析、パレート分析、時系列の物量分析等がある。
- ウ. パレート分析とは、品目と量の関係を分析し、クラス分けして、その重要度に応じて管理レベルを変えることで作業の効率を向上させようとするものである。
- エ. 荷姿データ分析においては、保管対象物単品の荷姿と、まとめて扱うためのパレット単位の荷姿の両面から分析する必要がある。
- オ. 物量の分析においては、取扱対象物の質量と容積の両方の物量データが必要である。

問題10 物流センターの計画における基本的な分析項目に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ピッキングに関する機能別の物量分析を行う場合、ピースピッキングとケースピッキングを分けて分析する必要がある。
- イ．物流インフラの分析では、センター立地候補を取り巻く高速道路のインターチェンジ、鉄道貨物駅やトラック運送事業者などの利用可能な社会基盤の分析を行う。
- ウ．保管対象物の分析では、製品別・質量別・形態別に保管対象製品を区分して、その特性を見極めることが大切である。
- エ．時間の分析の代表的な方法には、原単位当たり生産能力分析、シミュレーション等がある。
- オ．物流センター内の経路の分析では、入荷から出荷までの物流工程と工程間のフローをわかりやすく図示することが大切である。

問題11 物流センターの計画について最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．新たに物流センターを賃借物件で計画する場合、対象となる物件の選定に当たっては、予め必要な機能、立地や建屋構造などを検討しておく必要がある。
- イ．物流センター内の作業フローを仮定し、入荷、検品・入庫、保管、出庫・検品、出荷などの物流特性を設定することが一般的である。
- ウ．庫内レイアウトの計画では、入出荷場や保管場など必要な用途を明確にし、それぞれの用途毎に必要な面積を想定し、相互関係を整理することが重要である。
- エ．保管方式と機材の決定では、保管能力を最大にできる方式と機材を選定する必要がある。
- オ．マテハンシステムを計画する場合は、入出庫・保管・搬送方式などを総合的に検討して、求められる物流サービスレベルと物流コストのバランスを図ることが重要である。

問題12 物流センターのレイアウト計画に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．荷役・保管システム計画における所要面積は、現在の取扱量に基づき、作業内容、導入設備などを設定して決める。
- イ．庫内レイアウト計画では、庫内作業に必要な入出荷場、保管場などに加え、管理事務所や休憩所なども含めて検討する。
- ウ．保管方式の検討では、保管設備の検討と共に、建屋構造に合わせた設備配置の検討が必要である。
- エ．特売品のような大量で入出荷の回転が速い商品は、通常の保管場所に加えて、多目的に使用可能な場所の活用を検討することが望ましい。
- オ．出荷用仕分け装置（ソーター）のレイアウト計画では、インダクション部や分岐シュート下周辺での作業形態や人時生産性を考慮しなければならない。

問題13 物流センターにおけるピッキング作業に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ピッキング作業における課題の解決には、センター規模、投資金額の制約、技術的制約、人的な課題に加え、高度なサービスレベルの要求に応えなければならない困難さがある。
- イ．オーダー別ピッキング方式は、在庫アイテム数が数千、数万点と多い場合等に適している。
- ウ．デジタル表示式カートピッキング方式は、リストピッキング方式と比較して、一般的にピッキングミス率を1/1000程度に低減できる。
- エ．デジタル表示式ピッキング方式は、リストピッキング方式と比較して生産性が高い。
- オ．品種別ピッキング方式は、受注を集約して品種単位にまとめてピッキング作業を行い、その後工程でオーダー先毎に再仕分けする方法である。

問題14 倉庫業における人材育成について最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．物流センター内の実作業は、パートやアルバイトなどの非正規雇用労働者の比率が高いため、これらの労働者の人材育成が重要である。
- イ．荷主や配送先への対応として、提案営業や運営管理を行える人材が求められている。
- ウ．厚生労働省の「倉庫業部門の職業能力評価基準」は、必要な「知識」と「技術・技能」等に応じて新入社員から部長相当までのレベルで区分・整理されている。
- エ．倉庫業部門の職業能力評価基準を活用した人材育成の基本は、仕事を明確化し、職業能力開発の目標を明確化し、人材育成計画を策定して実施することにより、個人・企業の成長を目指すものである。
- オ．倉庫業部門の職業能力評価基準には、作業要素（能力ユニット）毎に「能力細目、職務遂行のための基準、作業マニュアル」が記述されている。

問題15 設備の機械化・自動化に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．機械化・自動化を図る動機には、作業量に対する処理能力不足、作業経費の高騰などが挙げられる。
- イ．機械化・自動化の計画を行う場合には、目的を明確にし、具体的な数値目標を設定して取り組むことが重要である。
- ウ．機械化・自動化に取り組むことによる期待効果は、省力化、人員の削減や、正確性・迅速性等の物流サービスレベルの向上が挙げられる。
- エ．機械化・自動化に取り組む際は、顧客の物流サービスへの要求を取り入れ過ぎると物流コストアップにつながることから、これらの外的要素は検討対象外としてよい。
- オ．入出荷を行うトラックやコンテナへの積卸し作業は手作業となっている場合も多いが、ユニットロード化による荷役の合理化や機械化・自動化の検討も進める必要がある。

問題16 物流センターの機械化・自動化に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア．部品メーカーが組立メーカーに納品するための物流センターと、完成品メーカーが卸・小売り事業者へ納品する物流センターの機械化・自動化の達成目標は、変わらない。
- イ．出庫作業の機械化・自動化は、ケース物のピッキングだけではなく、不定形な小物やピース物であっても人力よりも適応力がある。
- ウ．物流センターにおけるコンベア式とロボット式のソーターのうち、狭いセンターの場合にはロボット式ソーターは不向きである。
- エ．コンベア式ソーターの中でチルトトレイ方式は、様々なサイズのケース物の仕分け作業に向いている。
- オ．入出庫作業の機械化・自動化に当たっては、作業担当者の安全性や働き甲斐についても留意する必要がある。

問題17 Q C 七つ道具の使用法に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．問題項目の把握後に、その問題項目の全体に対する影響度を明らかにするとともに、改善すべき項目の順番を決める場合には、パレート図を用いる。
- イ．調査したデータの時間経過による数値の変化や推移を示す場合には、グラフのうち、レーダーチャートを用いる。
- ウ．2つの項目間の相互関係を見る場合には、対になった2つのデータをグラフに打点する散布図を用いる。
- エ．作業工程において、時間の経過とともに変動する量を測定し、品質や作業工程が安定的に管理されている状態にあるかどうか判断する場合には、管理図を用いる。
- オ．作業工程の中で発生している不適合の数やばらつきを調べる場合には、チェックシートのうち、記録用チェックシートを用いる。

問題18 物流センター内の作業におけるオペレーションミスに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．オペレーションミスとは、計画通りに作業運営が完了できないことである。
- イ．オペレーションミスを減らすためには、作業時間帯や曜日・週・月などの特性があるかを把握する必要がある。
- ウ．物流センターでの物流工程の中で、作業員に対して的確な作業指示が与えられない場合に生じるミスは、オペレーションミス発生の直接的要因である。
- エ．受注に対する納品数量の差異、品目の違い、商品の破損・汚損・変形、出荷期限切れ、品切れなどは、オペレーションミス発生の間接的要因である。
- オ．物流センター内のマテハンシステムの最大能力を把握できずに生じるミスは、オペレーションミス発生の間接的要因である。

問題19 作業改善の分析手法に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 作業工程分析では、要素工程を、「加工」、「運搬」、「停滞」、「検査」の4つに分類している。
- イ. 作業工程分析では、加工対象のモノを移動させながら加工する場合は、要素工程のうち「運搬」に分類する。
- ウ. 運搬工程分析では、モノの流れを、「移動」、「取扱い」、「加工」、「停滞」の4つの工程に分類している。
- エ. 運搬活性分析で用いられる活性示数は、置かれているモノを運ぶ際に、「まとめる」、「起こす」、「上げる」、「引き出す」の改善点の有無によって評価する。
- オ. 0から4までである活性示数が4の場合、モノがコンテナなどに入れられて、動いているコンベア上などにあり、活性が最も高い状態にあることを示す。

問題20 以下の＜事例＞を踏まえた場合、この卸売業者が物流センターにおいて取るべき対処方法に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

＜事例＞

多品種の日用雑貨品を取り扱っているある卸売業者では、2階建ての物流センターにおいて、小売店舗向けの商品の入出荷・保管業務を行っており、1階を入出荷・保管スペース、2階を保管スペースとして利用している。

このセンターにおいて、ワークサンプリング調査を実施した結果、「商品を探す」のに多くの時間がかかっていたことが明らかとなった。

- ア. 在庫商品の棚によるロケーション管理を徹底する。
- イ. 垂直搬送機を増設する。
- ウ. 受注締切時間を早くして、十分な作業時間を確保する。
- エ. ピッキング作業者を熟練者に変更する。
- オ. パレートの分析を行い、Cランク品を1階に、Aランク品を2階に保管するレイアウトに変更する。

問題21 物流ABC（活動基準原価計算）に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．アクティビティ毎の作業単価を設定する場合には、その施設の主な作業の単価のみを設定すればよい。
- イ．投入要素の資材消耗品費のうち、折り畳みコンテナのように繰り返して使用されるものについては、発生原価を算出する必要はない。
- ウ．アクティビティの設定は細かな動作単位ではなく、ケースピッキングのように1つの完結した作業単位にまとめることが望ましい。
- エ．人に係るアクティビティ毎の作業単価は、当該センターの作業者全員の費用と間接費を含む総人件費をアクティビティ毎の処理量に按分して求める。
- オ．アクティビティ単価による物流コスト上昇は、生産・仕入れ・営業部門の責任であり、処理量増加による物流コスト上昇は、物流部門の責任である。

問題22 投資採算分析に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．新たな物流センターを計画する際の投資採算分析は、投資及び運営に関わるコストに対して利益が上回るかどうかを検討する場合に用いられる。
- イ．現在価値法では、将来のキャッシュフローを現時点における価値に置き換えて投資額と比較する。
- ウ．現在価値法で投資採算分析を行う場合、利率は各年度で変動させる。
- エ．現在価値法で用いる利率は、その企業が社内で設定している利率を用いる。
- オ．ROI法では、採算分析の対象期間を決め、その期間の利回りを求める。

問題23 フォークリフトやクレーンの荷役作業に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．床上操作式クレーンで吊り上げ荷重が5 t以上の場合は、床上操作式クレーン運転技能講習を修了していれば作業ができる。
- イ．吊り上げ荷重1 t以上5 t未満の移動式クレーンの運転業務は、移動式クレーン運転特別教育を修了していればできる。
- ウ．最大荷重が3 tのフォークリフトの運転業務は、フォークリフトの運転業務に係る特別教育を受けなければならない。
- エ．吊り上げ荷重が5 t未満のクレーン、吊り上げ荷重が1.5 tの移動式クレーンの運転業務は、特別教育を受けなければならない。
- オ．吊り上げ荷重1 t未満のクレーンや移動式クレーンへの玉掛け作業は、特別教育を受けなくてもできる。

問題24 リスクアセスメントに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．機械や設備のリスクアセスメントでは、まず、リスク分析を行い、次に、リスクの評価を行い、その機械や設備が安全かどうかを見極める。
- イ．フェイルセーフとは、機器の一部が損傷、故障、停止などしても、全体の機能停止をしないように予備の系統に自動的に切り替えるなどして、機器の信頼性を高めることである。
- ウ．フル・プルーフを実現するための方法の例として、安全装置としてのインターロックやストッパがある。
- エ．フル・プルーフとは、人間が知らずに間違った操作をしたときに、機械が作動しないように設計することである。
- オ．リスクアセスメントとは、職場の潜在的な危険性又は有害性を見つけ出し、これを除去、低減するための手法である。

問題25 我が国の輸送機関の特性に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア．輸送機関別分担率における自動車の輸送トン数は90%を超えるが、輸送トンキロでは40%を下回る。
- イ．鉄道用31ftコンテナは、J R貨物保有のものも私有コンテナも、内容積は約48m³に統一されている。
- ウ．消防法における危険物をトラックでドラム缶や容器を用いて運搬する場合は、危険物取扱者の乗車が必要である。
- エ．船舶輸送では、海運事業者は、輸送貨物のロットサイズの大小を問わずに輸送を引き受ける。
- オ．鉄道輸送は、他の輸送機関に比べて輸送トンキロ当たりのCO₂など温室効果ガスの排出量が少ない。

問題26 エコドライブに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．交差点での赤信号による停車時においては、手動・自動に関わらずアイドリングはストップする。
- イ．車間距離にゆとりを持つことにより、加速・減速の機会を減らす。
- ウ．急発進・急ブレーキ等をしないことにより、消耗品の取り換え頻度を減らす。
- エ．迷惑駐車は他の車の燃費を悪化させるだけでなく、事故の原因ともなるため避ける。
- オ．エコドライブの取り組みは安全運転に繋がり、事故の発生リスクを軽減する効果もある。

問題27 貨物輸送機関の選択に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. トラックの積載量は、燃料タンクの大型化や荷台・シャーシの架装強化、ウイングボディ、テールゲートリフターの装備などの架装により減トンになる。
- イ. 鉄道輸送では、一般的にトラックより衝撃値（G）は少ないが、微振動が強いので、貨物同士の擦れやズレによる荷崩れ、共振による精密機器の破損などがトラックよりも発生する場合がある。
- ウ. 航空輸送は、スピードが最も速いという特徴があるが、国内航空の昼間便に積載された場合は納品先への配送は翌日となることが多いので、トラックより常に早くなるとは限らない。
- エ. 容積勝ちの貨物を満載で輸送する場合、5 t コンテナでの鉄道輸送と 4 t トラックの輸送では、5 t コンテナ輸送の方が多く積載できる。
- オ. 在来貨物船の速度は、コンテナ船やR O R O 船より遅い。

問題28 輸送機関の選択肢が増えると考えられる条件の記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 輸送する距離が長い場合（短い場合と比較して）
- イ. 緊急度が低い場合（高い場合と比較して）
- ウ. 運賃負担力が高い場合（低い場合と比較して）
- エ. 取引条件が一般的な場合（特殊な場合と比較して）
- オ. 輸送する貨物が危険物の場合（一般貨物の場合と比較して）

問題29 自家用トラックに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 自家用トラックは、積載効率や実車率が低く、近距離輸送が中心となっている。
- イ. 一般的に自家用トラックの輸配送は、営業用トラックに比べ外部支払い費用の削減ができるため、自家用トラックのトンキロベースでの分担率は過去10年程度一貫して増加してきた。
- ウ. 自家用トラックは、砂利・砂・石材、工業用鉱物等の輸送で多く使われている。
- エ. 3 P L 事業者は、荷主企業の物流業務のアウトソーシング化に伴い、自家用トラックから、営業用トラックへの転換を担っている。
- オ. トラック台数では自家用が80%を超えているが、輸送トンキロでは営業用が80%を超えている。

問題30 物流コストに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 荷主企業における機能別物流コストの平均値で最も大きな比率を占めるのは、輸配送コストである。
- イ. トラックの代表的なコストである運行三費とは、燃料・油脂費、タイヤ・チューブ費、ドライバー人件費である。
- ウ. 異業種企業との物流コストを、売上高物流コスト比率を用いて比較し、優劣を評価することは適切ではない。
- エ. 荷主企業に物流業務の外部委託を提案する場合、該当企業の業種における売上高物流コスト比率や機能別物流コスト比率を把握しておく必要がある。
- オ. 荷主企業の物流コストは、公開されている財務諸表から完全に把握することは困難である。

問題31 国内における求貨求車システムに関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. トレーサビリティの向上を目的として導入する企業が増えてきている。
- イ. 利用が拡大しても、実車率の向上にはつながらない。
- ウ. 運用に際しては、貨物の質量と容積の情報があれば、適切な車のマッチングは可能である。
- エ. 継続的でない取引の場合は、輸送品質や輸送費入金に対する不安の解消等、解決すべき課題も多く残っている。
- オ. 利用対象者を会員に限定せず、オープンな形にした方が貨物と車のマッチング可能性が高まるため、システムの運用は成功している。

問題32 配車業務と運行管理に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 小口積合せで配車支援システムを活用する場合、最終的判断や調整業務は、配車担当者が行う。
- イ. 納品を急がない貨物等は、物流品質を落とさないよう考慮しながら、求貨求車システムを利用するなどして、コスト削減等を行う。
- ウ. 事業者にとって事業用自動車の運行の安全を確保する任務を負っている運行管理者は、運転者の点呼、乗務記録の保存、運転者の過労防止、事故の記録、過積載の防止等を行う。
- エ. トラック運転者の改善基準告示を遵守し、運転時間は2日を平均し1日当たり11時間以内とする等、運転者の労働強化にならないように配慮する。
- オ. 車両の動態管理をして、遅延防止と定時運行に役立てると同時に、配達先に到着予定時刻を通知するサービスや、貨物追跡サービスを行うことが望ましい。

問題33 共同配送に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．配送貨物量の季節変動が異なる企業による共同配送で得られる最大の効果は、複数企業の車両を1台にまとめることによる積載率の向上である。
- イ．共同配送の継続には、メリットとデメリットの分析が必要となる。
- ウ．共同配送では、総走行距離が増加する場合がある。
- エ．共同配送では、自社の納品条件や出荷時刻を変更せざるを得ない場合がある。
- オ．共同配送の導入に当たっては、参加各社で運用ルールを統一する必要がある。

問題34 特殊輸送に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．重量品を輸送しようとする場合は、道路法の車両制限令や道路交通法の制限を超えていないかなどの確認が必要である。
- イ．高圧ガス保安法の適用を受ける高圧ガスを輸送する場合、危険物取扱者の資格が必要である。
- ウ．法令で定められた産業廃棄物の処理責任は、排出した事業者にある。
- エ．消防法で定められた危険物を移動タンク貯蔵所（タンクローリー）で移送する場合、危険物取扱者が乗車する必要がある。
- オ．定温物流の中で、特に冷凍やチルドといった低い温度帯のものを低温物流という。

問題35 船荷証券における国際条約に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．海上運送人の責任などを定めた国際条約として、日本はハーグ・ヴィスビー・ルール（通称、船荷証券統一条約）を批准している。
- イ．ハーグ・ヴィスビー・ルールに準拠した国内法は、改正国際海上物品運送法である。
- ウ．海上運送人は、船舶を航海に耐える状態に置くこと（堪航能力）に相応の注意を払う義務を負う。
- エ．海上運送人は、航行又は船舶取扱い上の船長、海員、水先人、使用人の過失（航海過失）について責任を負う。
- オ．新たな国際条約としてロッテルダム・ルールが国連総会で条約として承認されている。

問題36 国際コンテナ輸送と港湾に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 大量輸送による海上輸送の効率化の観点から、コンテナ船の大型化が進展している。
- イ. 日本の港湾は、釜山港や上海港といったアジア主要港に比較して、国際基幹航路の船舶が寄港する数が減少傾向にある。
- ウ. 国土交通省は、日本への国際基幹航路の寄港を維持・拡大し、産業の国際競争力強化を図ることを目指している。
- エ. 国土交通省は、京浜港、阪神港、伊勢湾を国際コンテナ戦略港湾に指定した。
- オ. 国際コンテナ戦略港湾では、国内外から貨物を集約する「集貨」、港湾背後への産業集積による「創貨」、大水深コンテナターミナル等の整備による「競争力強化」の3本柱の施策が進められている。

問題37 国際航空輸送に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 日本における国際航空貨物輸送量を比較すると、旅客機の貨物室で輸送される量と比べ貨物専用機で輸送される量の方が圧倒的に多い。
- イ. 大量輸送需要に対処するため、ジャンボ・ジェット（B747F）より大型の貨物専用機が急増している。
- ウ. 日本ではIATAが独占禁止法（私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律）の適用除外とされているため、航空会社はIATA運賃を採用している。
- エ. IATA加盟航空会社の貨物代理店として業務を行うには、IATA加盟代理店としての承認が必要である。
- オ. 国際宅配便の質量は32kgまでに制限されており、それ以上の質量の荷物は混載貨物として輸送しなければならない。

問題38 外航海運利用運送事業に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 貨物運送取扱事業法（後に貨物利用運送事業法に改正）施行以来、外航海運利用運送事業者の数は、ほぼ一貫して増加を続けている。
- イ. 利用運送事業の運賃・料金は、貨物利用運送事業法により事前届出制が廃止されたが、著しく不適切な運賃・料金は事業改善命令で事後的に是正される。
- ウ. 複合輸送を行う第二種貨物利用運送事業への参入については、国土交通大臣の許可が必要である。
- エ. 外航海運利用運送事業者による複合輸送貨物取扱量をFCLとLCLに区分すると、輸出入ともにLCL貨物が大部分を占めている。
- オ. 外航海運利用運送事業者が提供する3PLサービスは、ノンアセット型と言える。

問題39 モーダルシフトに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．ＪＲ貨物は、線路のほとんどを旅客鉄道会社から借りて列車を運行していることから、利用できる運行ダイヤが制限されるなど、輸送需要の変動に対する柔軟性に欠けている。
- イ．ＪＲ貨物では、ＩＳＯ規格の国際貨物コンテナを輸送することができない。
- ウ．機関車による牽引^{けん}列車と比べて、より高速走行が可能な電車式列車が、東京・大阪間で導入され、宅配便等の翌日配達が必要な貨物でも、モーダルシフトに成功した。
- エ．容積勝ち貨物においても、高い積載能力のある31ftコンテナに切り替えるモーダルシフトの事例が増えている。
- オ．鉄道貨物の利用において、一定の基準を満たしている企業に対しては、エコレールマークを製品、パッケージ、コンテナ等に表示することが認められている。

問題40 環境報告の開示媒体に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア．上場会社等に作成が義務付けられる有価証券報告書は、財務諸表を中心とする財務情報から構成されており、環境報告は行われていない。
- イ．環境報告書は、事業者が環境への取組に対する説明責任を果たし、ステークホルダーとのコミュニケーションを促進するためのものである。
- ウ．サステナビリティ報告書は、持続可能な社会の実現に向けた事業者の取組を環境、社会、経済の３分野で総合的に報告するものである。
- エ．サステナビリティ報告書の作成指針には、オランダの国際的ＮＰＯであるＧＲＩ（Global Reporting Initiative）スタンダードがある。
- オ．統合報告書は、事業者が様々な経営資源を利用してどのように価値創造するかを説明するものであり、自然資本等に関連する情報として環境報告が含まれる。